

○第7回研修会(オンライン開催)

【小学校部】

<基礎研修> ・評価・DLAの進め方について

講師 池田尚登先生

今回の研修では、評価の種類や意義、DLAを用いた評価や指導への活かし方について、事例を用いて詳しくお話し頂きました。また、ポートフォリオによって、子ども自身が、自分の成長を振り返ることができることについても、ご自身の実践を交えてお話ししてくださいました。動画や録音の保存、蓄積などタブレットを用いたポートフォリオの作成についてぜひ考えていきたいと思いました。

感想

- ・ 子どもの日本語能力を評価する際の「四大要因」についてのお話が非常に参考になりました。また、テストによる評価だけではなく、子ども自身が成長を実感できるような評価方法を取り入れていきたいと感じました。
- ・ 日本語指導対象児童の評価やフィードバック、そこからの再計画の重要性をいつも感じていましたので改めて見直す機会となりました。

<本研修> グループ研究

今回の本研修は、第3回目のグループ研究でした。各グループに分かれて、進捗状況の確認や報告に向けた話し合いを行いました。グループ研究のテーマは以下の通りです。

A : 文字指導の学習プログラムの作成と実践 B : ICTを活用した指導事例集の作成と実践

感想

- ・ それぞれの進捗状況を確認できました。授業についてのアドバイスをいただいたので、それを生かして、授業実践に臨みたいです。とても有意義な時間になりました。

【中学校部】

中学校部会では、指導困難事例について検討をしました。具体的な事例紹介のあと、①言語的不利による学習困難 ②学校不信による学校不適応③指導や適応に必要な期間④高等学校における日本語指導の実際などの観点から意見交換を行いました。これまでの指導の経験をもとに、中学部の先生の考えを共有できた時間でした。

感想

- ・ 先生方の事例をもとに、具体的にどのような対応ができるのか考えることができた。困難事例の背景にはそれぞれの先生が丁寧に細やかに生徒に寄り添い対応、指導された流れがあり、勉強になった。